

駐日スペイン大使館・玉川大学教育博物館 共催

玉川大学教育博物館所蔵

ガスパール・カサド

原智恵子

コレクション



2017.6.19 (月) - 30 (金)

【開館時間】月-金 10:00~17:00

土 10:00~14:00 ※日曜日は休館

駐日スペイン大使館 展示室

〒106-0032 東京都港区六本木1-3-29  
地下鉄南北線「六本木一丁目駅」



※エスカレーター使用すぐ

玉川大学教育博物館では、昨年(2016年)、ガスパール・カサド没後50年・原智恵子没後15年という記念の年に『カサド・原コレクション目録』を刊行、データベースを公開し、特別展「デュオ・カサド」等の記念行事を開催しました。

この度、駐日スペイン大使館において、スペインを代表する音楽家の一人であるカサドを顕彰する「ガスパール・カサドを称えて」が開催されるにあたり、改めてスペイン大使館にて「カサド・原コレクション」より、音楽家としてのそれぞれのあゆみ、〈デュオ・カサド〉として二人が残した功績を紹介いたします。

## 玉川大学教育博物館「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション」

20世紀を代表する世界的音楽家・スペイン人チェリストのガスパール・カサド(1897-1966)と、戦前より国際的に活躍した日本人女性ピアニストの草分け、原智恵子(1914-2001)夫妻の音楽活動を中心とした資料(以下「カサド・原コレクション」)は、原智恵子氏とご家族により、1990年に玉川学園に寄贈され、教育博物館が所蔵することとなりました。「カサド・原コレクション」は、楽譜(出版譜、手稿譜など)、演奏会プログラム、レコード、図書、雑誌など多岐にわたります。手稿譜では、メンデルスゾーンやレスピーギなどの自筆譜に加え、カサド自身の自筆による編曲譜なども数多く存在します。また、出版譜には、19世紀初頭に刊行された楽譜も含まれています。演奏会プログラムは、カサド夫妻はもちろん、同時代の音楽活動を知るきわめて重要な資料といえます。

【カサド作曲「緑の悪魔の踊り」のイメージ絵】



【原智恵子の船旅行トランク】



【カサドの自筆譜(一例)】

【結婚式のアルバム】(個人蔵)



ガスパール・カサド  
(1897-1966)

1897(明治30)年9月30日バルセロナ生まれ。幼少より、教会音楽家の父親から音楽教育を受ける。バルセロナ市より奨学金を得てパリに渡り、パプロ・カザルスのもとで学ぶ。第一次世界大戦終戦後より、国際的なキャリアをスタートさせた。1959年に日本人ピアニストの原智恵子と結婚。以降、ソリストのほか「デュオ・カサド」として世界中で人気を集めた。また、キジャーナ音楽院、ケルン音楽大学などでも教鞭を取り、後進の育成を行った。1966(昭和41)年12月24日、マドリッドで客死。

1914(大正3)年12月25日神戸生まれ。13歳で渡仏したのちパリ音楽院に入学、名教師ラザール・レヴィに師事。1937年第3回シヨパン国際コンクールに日本人初の出場を果たし、聴衆賞を得る。戦前から戦後にかけて、日本を代表する演奏家として国内外で活躍した。カサドの死後、フィレンツェ市の協力を得て「ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール」を創設、その栄誉のしるしとして、1987年には勲三等宝冠章叙勲。2001(平成13)年12月9日、東京で死去。



原智恵子  
(1914-2001)

## 駐日スペイン大使館主催「ガスパール・カサドを称えて」関係行事

### ● アルド・マータ氏によるチェロコンサート ～ガスパール・カサドへのオマージュ～ ●

日時：2017.6.19(月)18:30 開演 場所：駐日スペイン大使館 オーデイトリアム

※入場無料、詳細は駐日スペイン大使館ホームページ、facebook等をご覧ください

### ● 「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション」 ●

期間：2017.6.19(月)-30(金) ※24日(土)10:00~14:00・日曜日は休館 場所：駐日スペイン大使館 展示室

### ● スペイン人演奏家によるコンサート ●

今秋・詳細未定

お問い合わせ

展示について：玉川大学教育博物館 E-mail：museum@tamagawa.ac.jp

コンサートについて：駐日スペイン大使館 E-mail：emb.tokio@maec.es